

東日本・家族応援プロジェクト2012 in 仙台

東日本大震災発生後、立命館大学大学院応用人間科学研究科では、対人援助学の専門的知識・技術・ネットワークを活かし、十年にわたる「東日本・家族応援プロジェクト」をスタートさせました。宮城県内の被災家族や親子の支援を行ってきた「災害子ども支援ネットワークみやぎ」と、被災した子どもたちの声に耳を傾け続け、支援者の研修なども行ってきた「特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ」がこのプロジェクトを受けて、今回の企画が実現しました。震災後、走り続けている支援者の皆さんに、ぜひ見て、聞いて、いただきたいプログラムです。



団 士郎 家族の物語「木陰の物語」漫画展

期間 10月1日～6日 9:00～21:00 (6日は～15:00)
場所 エル・ソーラ仙台 28階フロア 参加費無料

講 演 会

日時 10月6日(土) 10:00～15:00
10:00～12:00 団 士郎の漫画トーク～「木陰の物語」の物語～
13:00～15:00 村本邦子「支援者のための支援講座」

場所 仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 大研修室
〒980-6128 仙台市青葉区中央1丁目3-1 エル 28階
TEL022-268-8041

定員70人 参加費 無料 参加申込 裏面参照

主催 立命館大学大学院応用人間科学研究科
特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ
災害子ども支援ネットワークみやぎ

共催 公益財団法人せんだい男女共同参画財団

後援 仙台市教育委員会

講師紹介

<団 士郎>

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。公立の児童相談機関心理職 25 年を経て独立、「仕事場 D・A・N」主宰。家族療法の実践をしながら、講演やワークショップを全国で展開。漫画家としても多数作品を発表している。『不登校の解法』（文春新書）、『家族力×相談力』（文春新書）、『家族の練習問題』1～4（ホンブロック）など。

<村本邦子>

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。臨床心理士。1990 年女性ライフサイクル研究所を設立し、子育て支援、女性と子どものカウンセリング(とくに虐待や DV)、支援者支援に取り組んできた。『大人びてきたわが子に戸惑ったとき読む本』（PHP）、『暴力被害と女性 - 理解、脱出、回復』（昭和堂）、『しあわせ家族という嘘』（創元社）など。

※立命館大学大学院応用人間科学研究科 (<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gssh/index.html>)

※対人援助学会 (<http://www.humanservices.jp/>) : 「対人援助マガジン」を無料でダウンロードして、講師たちの連載を読むことができます。

10月7日(日) 多賀城でも実施します。

日時 10月7日(日) 10:00～12:00 団 士郎の漫画トーク～「木陰の物語」の物語～
13:00～15:00 村本邦子 支援者のための支援講座
団 士郎「家族漫画」パネル展示 会場内

場所 多賀城市公民館第3・4会議室

主催 立命館大学大学院応用人間科学研究科 特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ
災害子ども支援ネットワークみやぎ

共催 おおぞら保育園

※10月6日の講座は、特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ主催子どもサポーターズ養成講座の特別講座、
宮城県サポートセンター支援事業の一環ともなっております。

申し込み

次のいずれかの方法によって御連絡下さい。

- ・下記に記入してFAX 022-279-7210 に送信
- ・下記事項をメールにて送信 c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp
- ・下記事項を電話にて連絡 022-279-7210 (平日9:30～16:30)

東日本・家族応援プロジェクト2012 in 仙台 に参加を申し込みます。 ※は可能な範囲で結構です。

ふりがな		電話番号	
氏名		参加希望会場	仙台 ・ 多賀城
※ 職名・ 所属など		※ 講師・主催者に 伝えたいこと	